

第 19 期

環 境 報 告 書

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

2022 年 6 月 1 日

株式会社BWM

1. 組織の概要

(1)組織の概要

事業所名 :株式会社BWM
代表者氏名 :代表取締役 齋藤 博
所在地 :【本社】宮城県仙台市青葉区大町二丁目 10 番 14 号
【大和プラント】宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17
【南方プラント】宮城県登米市南方町字実沢 152 番 2
事業内容 :産業廃棄物収集運搬業、中間処理業、伐採工事請負
資本金 :6,800 万円
設立年月日 :平成 15 年 12 月 12 日
売上高 :516,674 千円(令和 4 年 3 月期)
従業員数 :28 名(本社 19 名、大和プラント 6 名、南方プラント 3 名)

(2)産業廃棄物処理業に関する事業内容

1)許可の内容

①産業廃棄物収集運搬業

許可自治体	優良認定	許可番号	許可年月日	有効期限	産業廃棄物の種類																		備 考		
					燃え	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	石綿含有産業廃棄物		水銀使用製品	水銀含有ばいじん等
宮城県	○	00413113164	平成27年10月5日	平成34年10月4日	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	◎			積替え保管を行う場所： 宮城県黒川郡大和町松坂 平八丁目3番地17
山形県	○	0609113164	平成29年7月3日	平成36年7月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
岩手県	○	00300113164	平成31年2月16日	平成38年2月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
福島県	○	00707113164	令和元年5月1日	令和8年4月30日		○				○	○	○	○		○	○	○	○			○	○			
秋田県	○	00507113164	令和3年4月5日	令和10年4月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
青森県		00201113164	令和元年5月27日	令和6年5月26日						○	○	○	○		○	○	○	○			○	○			

◎:積替え保管を含む ○:積替え保管を除く

②産業廃棄物処分類

許可自治体	優良認定	許可番号	許可年月日	有効期限	事業の範囲 処理方法	産業廃棄物の種類																備 考	
						燃 え	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プラ スチック 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	金 属 く ず	ガラ ス陶 磁器 く ず	鉛 さ い	が れ き 類	動 物 の ふ ん 尿	ば い じ ん		石 綿 含 有 産 業 廃 棄 物
宮城県	○	00423113164	平成27年9月8日	平成34年9月7日	中間処理 破砕(固定式)								○									施設の設置場所: 宮城県黒川郡大和町 松坂平八丁目3-17	
					中間処理 破砕(固定式)								○										施設の設置場所: 宮城県登米市南方町 実沢152-2
					中間処理 破砕(移動式)								○										
仙台市	○	05421113164	平成31年4月30日	令和8年4月29日	中間処理 破砕(移動式)								○									伐採木に限る。	
福島県	○	00720113164	令和1年9月9日	令和8年8月3日	中間処理 破砕(移動式)								○										
岩手県		00320113164	令和3年12月19日	令和8年12月18日	中間処理 破砕(移動式)								○										
秋田県		00527113164	平成29年9月6日	平成34年9月5日	中間処理 破砕(移動式)								○										
福島市	○	12420113164	令和元年8月4日	令和8年8月3日	中間処理 破砕(移動式)								○										
青森県		00221113164	令和元年9月26日	令和6年9月25日	中間処理 破砕(移動式)								○										

2)事業計画の概要

宮城県黒川郡大和町と登米市南方に産業廃棄物中間処理施設を設置し、伐採工事等から出される枝葉や伐根等の木くずの収集運搬及びチップ化処理を行っている。

施設でチップ化した木くずは、主に発電用燃料としてバイオマス発電所に供給している。

3)施設等の状況

①収集運搬車両

10tヒアブクレーン車 2 台、4tアームロール車 1 台、10t深ダンプ 2 台

合計 5 台

うち平成 22 年規制適合／排出ガス 10%低減車・平成 27 年度燃費基準達成車 1 台、

平成 21 年基準適合／排出ガス 10%低減車・平成 27 年度燃費基準達成車 3 台、

平成 28 年基準適合車・H27 年度燃費基準 5%向上達成車 1 台

②積替え保管施設

所在地:宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17

保管面積:32.4 m²

保管上限高さ:2.2m

保管上限量:40.6 m³(廃プラスチック類…8 m³、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類…各 4 m³、廃油…0.2 m³、汚泥…0.4 m³、石綿含有産業廃棄物…8 m³)

③産業廃棄物中間処理施設

【大和プラント】

施設の種類:木くずの破碎施設

所在地:宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目3番地17(第一仙台北部中核工業団地内)

敷地面積:4,977 m²

建築面積:廃木材リサイクルA棟 1599.12 m² B棟 914 m² 事務所棟 235.44 m²

産業廃棄物処理施設設置許可:令和2年10月12日 許可番号 06-15-3

令和2年10月12日 許可番号 3-61-0

処理する産業廃棄物の種類:木くず

主要設備:

二軸破碎機ビッグバス SRS650C(一次破碎機) 処理能力 229.79t/日(11時間稼働)

モバーク・タブグラインダー1000E(二次破碎機) 処理能力 123.20t/日(11時間稼働)

ロータリースクリーン 1台

スタースクリーン(選別機) 1台

木材カッター1台、油圧ショベル2台、フォークリフト2台、ショベルローダー1台

【南方プラント】

施設の種類:木くずの破碎施設

所在地:宮城県登米市南方町実沢152番2

敷地面積:7,444 m²

建築面積:工場棟 912 m² 事務所棟 44.31 m²

産業廃棄物処理施設設置許可:平成29年2月2日 許可番号 07-22-1

処理する産業廃棄物の種類:木くず

主要設備:

二軸破碎機 HAAS(一次破碎機)

モバーク・タブグラインダー1000E(二次破碎機) 処理能力 89.6t/日(8時間稼働)

ロータリースクリーン 1台

木材カッター1台、油圧ショベル2台、フォークリフト1台、ショベルローダー1台

【移動式施設】

施設の種類:移動式木くずの破碎施設

名称:モバーク・タブグラインダーS1000TRACK 処理能力:120t/日(8時間稼働)

許可取得自治体:宮城県、仙台市、岩手県、福島県、福島市、青森県、秋田県

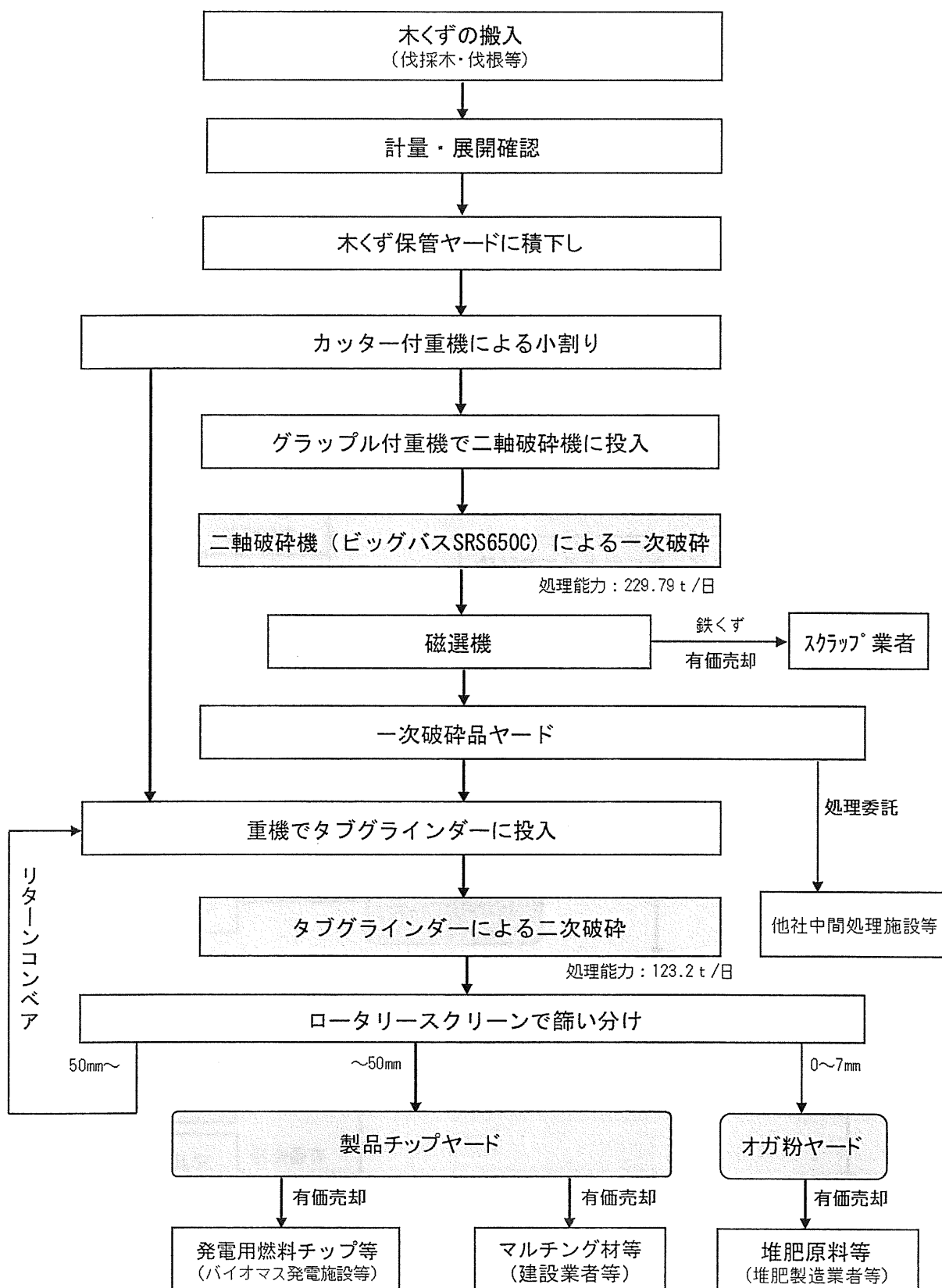
施設の種類:移動式木くずの破碎施設

名称:二軸破碎機ビッグバス SRS650C 処理能力 226.4 t/日(8時間稼働)

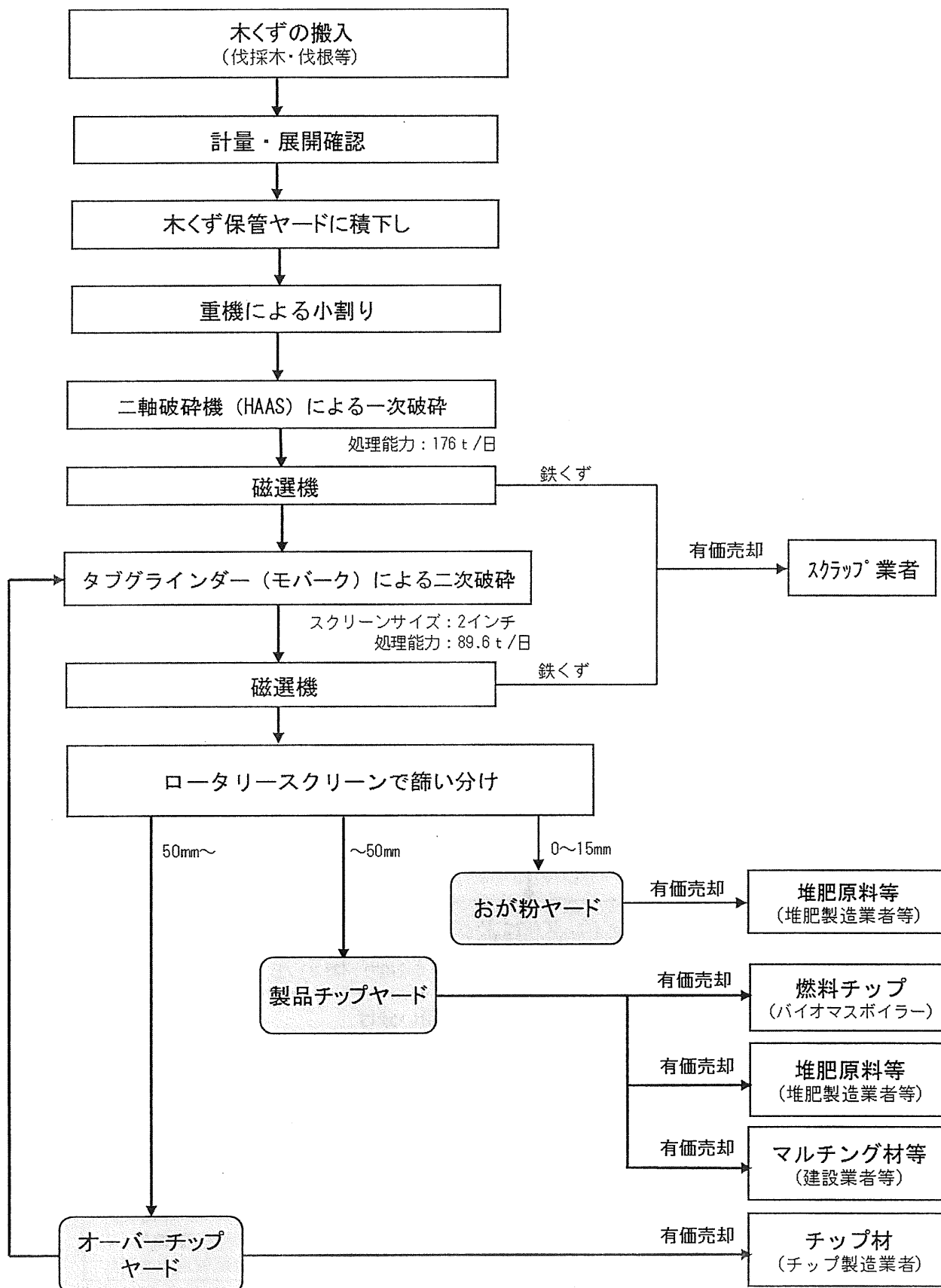
許可取得自治体:宮城県、仙台市、岩手県、福島県、福島市、青森県

4) 処理工程

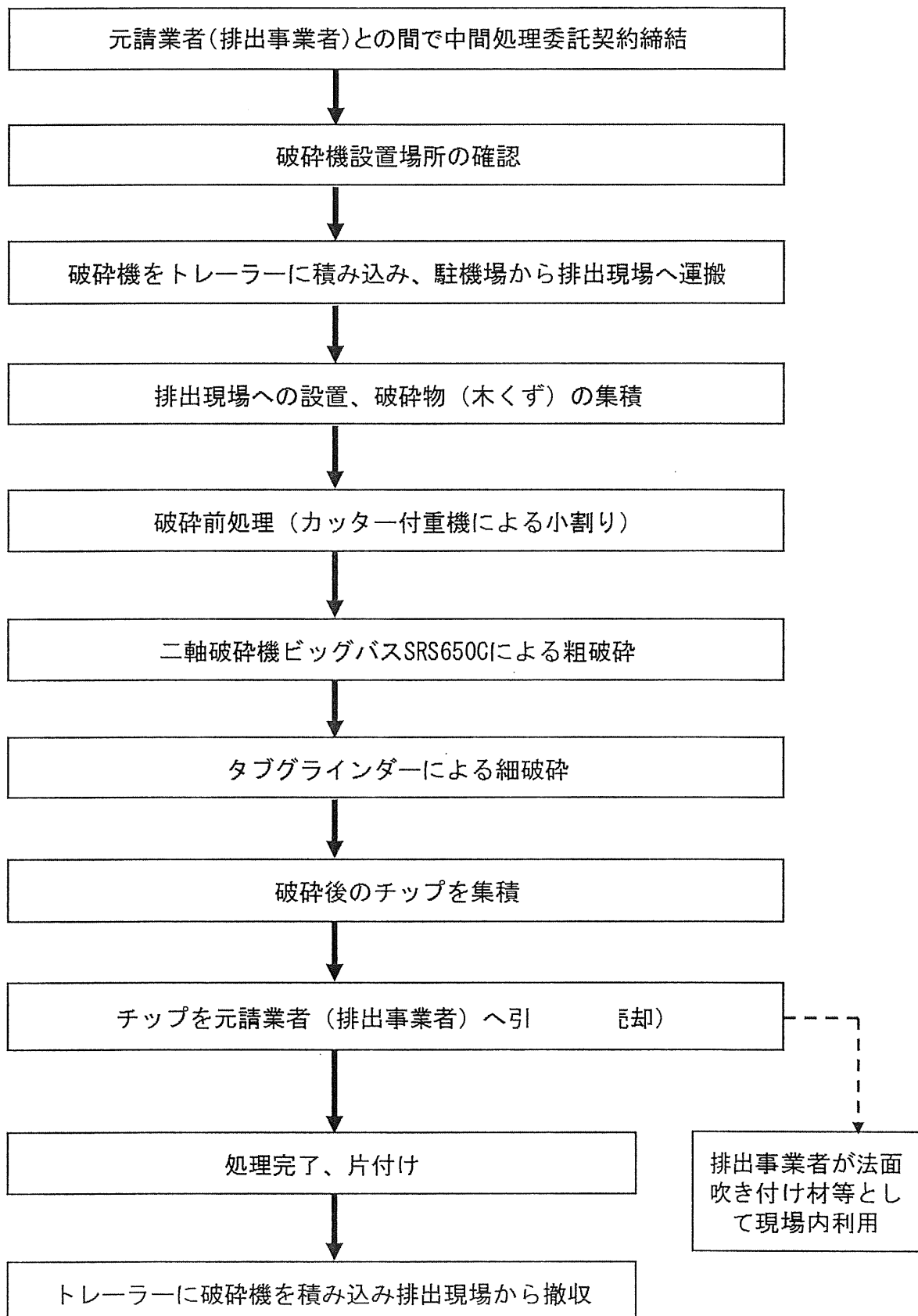
① 大和プラント



① 南方プラント



② 移動式施設



5) 処理実績

①産業廃棄物収集運搬業

単位：t

産業廃棄物の種類	令和3年									令和4年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
廃プラスチック類			1.74										1.74
紙くず													0
木くず	469	401	758	257	221	710	414	360	315	317	298	182	4703
繊維くず													0
金属くず													0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず													0
廃石膏ボード													0
がれき類													0
管理型混合				0.31									0.31
合計	469	401	760	258	221	710	414	360	315	317	298	182	4705

②産業廃棄物処分業

【大和プラント】

単位：t

産業廃棄物の種類		処分方法		令和3年								令和4年			合計	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
木くず		破碎	受入量	335	281	603	167	169	383	341	237	425	185	282	39	3448
			処分量	335	281	603	167	169	383	341	237	425	185	282	39	3448
処理後残さ	木くず	破碎	処分委託量	44	85	60	86	83	93	105	130	70	29	0	0	784

【南方プラント】

単位：t

産業廃棄物の種類		処分方法		令和3年								令和4年			合計	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
木くず		破碎	受入量	883	461	643	168	84	332	172	107	142	165	108	20	3287
			処分量	883	461	643	168	84	332	172	107	142	165	108	20	3287
処理後残さ	木くず	破碎	処分委託量													0

2. 登録対象

(1) みちのくEMS 登録内容

認証登録年月日: 2021 年 9 月 28 日 (初回登録日 2009 年 9 月 28 日)

有効期限 : 2023 年 9 月 27 日

認証登録番号 : 09005

(2) 登録範囲

登録範囲(サイト)

① 大和プラント(宮城県黒川郡大和町松坂平 8 丁目 3-17)

事業内容: 産業廃棄物処分業、収集運搬業

従業員数: 6 名

敷地面積: 4,977 m²

② 南方プラント(宮城県登米市南方町実沢 152-2)

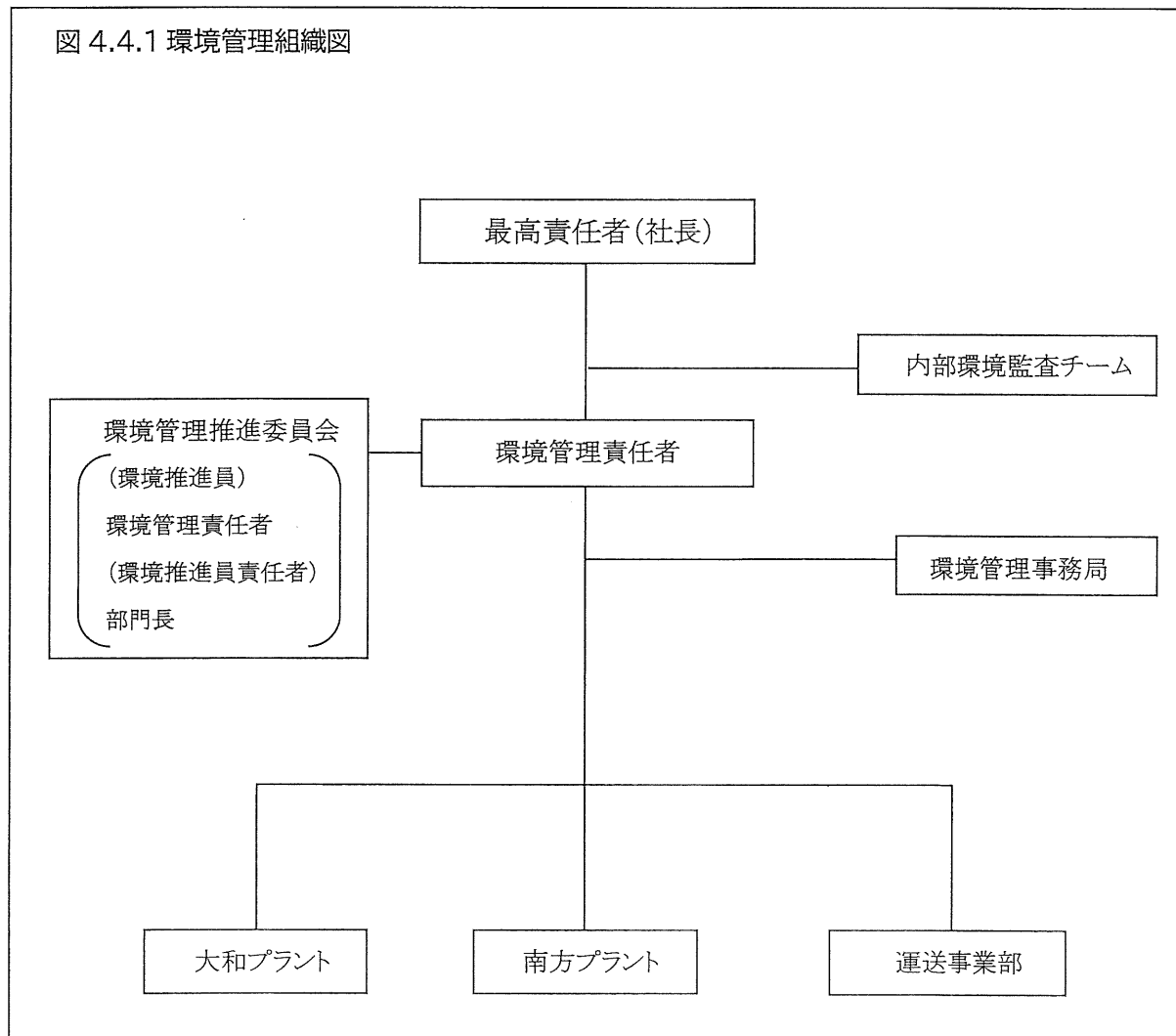
事業内容: 産業廃棄物処分業、収集運搬業

従業員数: 3 名

敷地面積: 7,444 m²

(3) 環境活動の取組体制

図 4.4.1 環境管理組織図



3. 環境方針

株式会社BWM 環境方針

基本理念

1. 私たちは、あらゆる尊い『いのち』を大切に想い、地球に優しい環境創りに挑戦します。
1. 私たちは、『未来へ伝える心』を大切に、人と自然が育み続ける社会を創造します。
1. 私たちは、『感謝の気持ち』を忘れず、夢の実現へ共に育ち成長し続けます。

環境方針

1. 事業活動にあたって、環境に関する法規制、その他の要求事項を遵守することを約束する。
2. 本環境方針に沿って環境目標を具体的に設定し、全社員は一致協力してその達成に努める。
3. 社内のあらゆる活動において発生する環境に及ぼす影響を常に認識し、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和、汚染の予防、その他の環境保護活動に取り組むことを約束する。
4. 環境パフォーマンスを向上させるため、定期的に環境目標の実績を評価し、見直しを行い、継続的改善に努める。
5. 環境教育・周知活動を推進し、全社員の環境意識の向上を図るとともに、環境方針を社外に公開する。

2021 年 1 月 1 日

株式会社 B W M
代表取締役 齋藤 博

4. 環境目的・環境目標

2021 年度～2023 年度 環境目標達成計画表

部門	目標	基準年	各年度目標				実施事項（日程含む）	必要な資源	部門責任者	達成期限	達成確認評価方法
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度						
大和プラント	プラントからのCO2排出量の削減	総排出量140,806kg (処理量7,083 t) 処理量1 tあたりの排出量19.88kg	19.8kg／t以下	19.7kg／t以下	19.6kg／t以下	・昼休み・休憩時の消灯、電源OFF ・入荷量による計画的な稼働（集中的な作業による効率アップ） ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択	要員の意識と協力	伊藤俊吾	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	水使用量の削減	230㎡/年	229㎡/年以下	228㎡/年以下	227㎡/年以下	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う	要員の意識と協力	伊藤俊吾	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	事業系一般廃棄物の削減	45ℓごみ袋75袋	45ℓごみ袋74袋以下	45ℓごみ袋73袋以下	45ℓごみ袋72袋以下	・社員の意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底	要員の意識と協力	伊藤俊吾	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	リサイクルの推進	チップ出荷量 4,496 t (374 t／月)	7,200 t 以上	7,250 t 以上	7,300 t 以上	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との密な打ち合わせ ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保	要員の意識と協力	伊藤俊吾	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
南方プラント	プラントからのCO2排出量の削減	総排出量199,497kg (処理量9,128 t) 処理量1 tあたりの排出量21.86kg	21.8kg／t以下	21.7kg／t以下	21.6kg／t以下	・昼休み・休憩時の消灯、電源OFF ・入荷量による計画的な稼働（集中的な作業による効率アップ） ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択	要員の意識と協力	遠藤長也	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	水使用量の削減	54㎡/年	53㎡/年以下	52㎡/年以下	51㎡/年以下	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う	要員の意識と協力	遠藤長也	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	事業系一般廃棄物の削減	45ℓごみ袋60袋	ごみ袋59袋以下	ごみ袋58袋以下	ごみ袋57袋以下	・社員の意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底	要員の意識と協力	遠藤長也	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	リサイクルの推進	チップ出荷量 7,372 t	7,350 t 以上	7,400 t 以上	7,450 t 以上	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との密な打ち合わせ ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保	要員の意識と協力	遠藤長也	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
運送事業部	収集運搬車両の燃料消費量の削減	燃料消費量 93,314ℓ 運搬量100,595㎡ 運搬量1㎡あたりの燃料消費量 0.93ℓ/㎡	0.92ℓ／㎡以下	0.91ℓ／㎡以下	0.90ℓ／㎡以下	・運搬計画の十分な検討による走行距離の短縮、渋滞の回避 ・運転者の意識の向上（エコドライブ、アイドリングストップ） ・暖気運転の削減 ・車両整備の徹底	要員の意識と協力	金澤英明	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	

5. 環境活動の実績

(1)環境マネジメントプログラムの達成状況

2021年度環境マネジメントプログラム(大和プラント及び運送事業部)

環境目標	2021 年度目標	主要施策	実績値	評価※
プラントからの二酸化炭素排出量の削減	廃棄物処理量 1tあたりの二酸化炭素排出量 19.8 kg-CO2/t以下 (2020 年度実績) 廃棄物処理量 1tあたりのCO2 排出量:19.88 kg/t CO2 排出量:140,806kg 電力消費量:134,420kwh 軽油消費量:30,870ℓ 廃棄物処理量:7,083t	・昼休み・休憩時の消灯、電源 OFF ・入荷量による計画的な稼働(集中的な作業による効率アップ) ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択	廃棄物処理量 1tあたりのCO2 排出量:19.28 kg CO2 排出量:74,220kg 電力消費量:81,953kwh 軽油消費量:13,044ℓ 廃棄物処理量:3,850t	A

水使用量の削減	水使用量 229 m ³ /年以下 (2020 年度実績) 230 m ³ /年	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う(バケツを使用する等)	水使用量 219 m ³ /年	A
事業系一般廃棄物の削減	450ゴミ袋 74 袋以下 (2020 年度実績) 75 袋/年	・社員の環境意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底	450 ゴミ袋 74 袋	A
リサイクルの推進	チップ出荷量 7,200t/年以上 (2020 年度実績) 4,496t/年	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保	年間チップ出荷量 2,523t (月平均 210t)	C
収集運搬車両の燃料消費量の削減	運搬量 1m ³ あたりの軽油消費量 0.920以下に削減 (2020 年度実績) 運搬量 1m ³ あたりの軽油消費量:0.930 軽油消費量:93,3140 運搬量:100,595m ³	・運搬計画の十分な検討による走行距離の短縮、渋滞の回避 ・運転者の意識の向上(エコドライブ、アイドリングストップ) ・暖気運転の削減 ・車両整備の徹底	運搬量 1m ³ あたりの軽油消費量:1.200 軽油消費量:90,7970 運搬量:75,464m ³	C

2021 年度環境マネジメントプログラム(南方プラント)

環境目的	2021年度目標	主要施策	実績値	評価※
プラントからの二酸化炭素排出量の削減	廃棄物処理量 1tあたりの二酸化炭素排出量 21.8 kg-CO ₂ /t以下 (2020 年度実績) 廃棄物処理量 1tあたりの CO ₂ 排出量:21.86 kg/t CO ₂ 排出量:107,586kg 電力消費量:164,504kwh 軽油消費量:48,3130 廃棄物処理量:9,128t	・昼休み・休憩時の消灯、電源 OFF ・入荷量による計画的な稼働(集中的な作業による効率アップ) ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による場内運搬量の削減 ・計画的な作業による重機の待機時間の削減 ・待機時のアイドリングストップ ・暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・省エネ機器の選択	廃棄物処理量 1tあたりの CO ₂ 排出量:30.28 kg CO ₂ 排出量:107,586kg 電力消費量:97,624kwh 軽油消費量:22,9700 廃棄物処理量:3,554t	A C

水使用量の削減	水使用量 53 m ³ /年以下 (2020 年度実績) 54 m ³ /年	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う(バケツを使用する等)	水使用量 37 m ³ /年	A
事業系一般廃棄物の削減	450ゴミ袋 59 袋以下 (2020 年度実績) 60 袋/年	・社員の環境意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底	450 ゴミ袋 71 袋	C
リサイクルの推進	チップ出荷量 7,350t/年以上 (2020 年度実績) 7,372t/年	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保	年間チップ出荷量 3,049t (月平均 305t)	C

※A: 良好(達成率 100%以上) B: やや不足(90~100%) C: 不適合(90%以下)

(2) 環境活動の評価と課題

1) 大和プラント

① 廃棄物処理量 1tあたりの二酸化炭素排出量の削減

2020 年度実績から削減することを目標に設定した。昨年度、破砕機の入替えにより処理能力は大幅にアップしたが、工事部での受注工事が県外工事が多かったため、プラントへの木くずの搬入は昨年度の半分程度に落ち込んだ。エネルギー消費量は少なく、削減目標を達成することができた。

	18 期	19 期	前期比
木くず処理量	7,083 t	3,850 t	0.54
電力消費量	134,420kwh	81,953kwh	0.61
電力消費に伴う CO2 排出量	61,161 kg	40,567 kg	0.66
軽油消費量	30,870ℓ	13,044ℓ	0.42
軽油消費に伴う CO2 排出量	79,645 kg	33,654 kg	0.42
CO2 排出量合計	140,806 kg	74,220 kg	0.53
処理量あたりの CO2 排出量	19.88 kg/t	19.28 kg/t	0.97
目標値	28.08 kg/t 以下	19.8 kg/t 以下	

② 水使用量の削減

大和プラントでの年間の水使用量は 219 m³で 229 m³以下とする目標を達成した。

③ 事業系一般廃棄物の削減

19 期は 450 ゴミ袋 74 袋で、前期より 1 枚減らし、削減する目標を達成した。大和プラントでは紙ごみの分別を徹底して行っている。

④ リサイクルの推進

前期に破砕機の入替えを行い、処理能力が大幅にアップしたことから目標を月 600 トン以上(年間 7,200 トン)

ン以上)に設定したが、19 期は県外の工事が多く、プラントへの搬入量が前期の半分程度に落ち込んだことなどから、チップ出荷量は 2,523 トンで前期を大幅に下回り、目標を達成することができなかった。

⑤収集運搬車両の軽油消費量の削減

県外工事が多く、長距離運搬が多かったことなどから、運搬量1m³あたりの軽油消費量 0.92ℓ以下とする目標を達成することができなかった。

	18 期	19 期	前期比
運搬量	100, 595 m ³	75, 464 m ³	0. 75
軽油消費量	93, 314ℓ	90, 767ℓ	0. 97
軽油消費に伴う CO2 排出量	240, 750 kg	234, 179 kg	0. 97
運搬量あたりの燃料消費量	0. 93ℓ/m ³	1. 20ℓ/m ³	1. 29
運搬量あたりの CO2 排出量	2.399 kg/m ³	3.103 kg/m ³	1. 29
目標値	1.25ℓ/m ³ 以下	0.92ℓ/m ³ 以下	

2)南方プラント

①廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量の削減

廃棄物処理量1tあたりの二酸化炭素排出量は、削減目標を達成できず、前期の 1.39 倍となった。

要因としては大和プラントと同じく搬入が少なかったため効率的な処理ができなかったことによると思われる。

	18 期	19 期	前期比
木くず処理量	9,128t	3,554t	0.39
電力消費量	164,504kwh	97,624kwh	0.59
電力消費に伴う CO2 排出量	74,849kg	48,324kg	0.65
軽油消費量	48,313ℓ	22,970ℓ	0.48
軽油消費に伴う CO2 排出量	124,648kg	59,263kg	0.48
CO2 排出量合計	199,497kg	107,586kg	0.54
処理量あたりの CO2 排出量	21.86kg/t	30.28kg/t	1.39
目標値	22.09kg/t以下	21.8kg/t以下	

②水使用量の削減

年間の水使用量は 37 m³で目標の 53 m³以下を達成した。

② 事業系一般廃棄物の削減

19 期は 45ℓ ごみ袋 71 袋で、前期より使用量を削減する目標を達成できなかった。要因は事務所内の掃除を徹底して行うようになったためと思われる。

④ リサイクルの推進

チップ出荷量の目標を前期と同程度の年間 7,350 トンに設定したが、19 期は県外の工事が多く、プラントへの搬入量が前期の半分以下に落ち込んだことなどから、チップ出荷量は 3,049 トンで前期を大幅に下回り、目標を達成することができなかった。

6. 内部監査及び外部監査の結果

(1) 内部監査の結果

内部監査は 2022 年 2 月 14 日に大和プラント、南方プラントで実施した。

環境マネジメントシステムは適切に運用されていることが確認された。

プラントでの木くずの受け入れ量が前期を大幅に下回ったことから、処理量1tあたりの二酸化炭素排出量の削減目標が南方プラントで未達、チップ出荷量が両プラントで目標未達成、収集運搬車両の運搬量あたりの燃料消費量の削減が目標未達成となっており、問題事項として指摘があった。

(2) 外部監査の結果

2021 年 6 月 15 日に行われた優良産廃更新審査において、不適合、改善要求事項、観察事項は特になかった。

7. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認している。

法規制の大きな逸脱は見られなかった。

8. 最高責任者による評価と見直しの結果

2022 年 6 月 3 日にマネジメントレビューを実施した。

(1) 全体評価

環境マネジメントシステムは適切に運用されている。

適用規格が昨年 4 月からみちのく EMS 規格(第 3 版)、みちのく EMS(第 3 版)エコアクション 21 産業廃棄物処理業者の相互認証附属書に変更されたので、これに対応した活動を行うよう指示があった。

(2) 環境方針等の変更の必要性

環境目標について、目標を大幅に逸脱した項目について、目標の見直しを検討するよう指示があった。

9. コミュニケーション

第 19 期に実施した環境コミュニケーション活動

- ・仙台北部中核工業団地大栄会による工業団地内道路の清掃活動への参加(毎月 1 回)
- ・2021 年 10 月 21 日 宮城県産業資源循環協会主催のクリーン作戦への参加

10. 次年度の取り組み内容

第 19 期はみちのく EMS 規格(第 3 版)、みちのく EMS(第 3 版)エコアクション 21 産業廃棄物処理業者の相互認証附属書に対応した活動を行う。次の項目に取り組む。

- ① 廃棄物処理量 1tあたりの二酸化炭素排出量の削減
- ② 運搬車両の燃料消費量の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ 事業ごみ排出量の削減
- ⑤ チップ出荷量の維持向上

11. その他

自社排出産業廃棄物の種類及び排出量

排出事業場	産業廃棄物の種類	排出量
大和プラント	排出なし	
南方プラント	混合	1.5 m ³
	廃プラスチック類	4.0 m ³